



大楠小だより

絆 きずな
—夢をもち 心豊かに たくましく生きる 大楠の子—

横須賀市立大楠小学校 八矢 信宏
〒240-0104 横須賀市芦名 1-29-18
tel: 046-856-0154
Fax: 046-856-0245

先生も頑張っってね

毎朝の交通指導での出来事です(前号と重なりますね)。

「暑いけど校長先生も頑張っってね。」
とある女の子が声をかけてくれました。

その子にとっては、それほど大きな意味はなかったのかもしれませんが。校長先生がいるから、ちょっと声をかけただけの行為なのかもしれませんが。前号の麦茶の話題ではありませんが、ちょっとした声かけが、時に勇気につながるのだと実感しました。

また同時に、相手の様子を見て思いやる。人としてとても大切なことを、ごくごく自然に実践できている子が大楠小に増えているのだと感じました。思いやりの心は決して押し付けるものではありません。こうあるべきという決まった形もないのだと思います。基本的には、見返りを求めない、無償の行為に現れるものだと思います。何気ない一言にあらわれる子どもたちの優しさをしっかり受け止められる人でありたいと思っています。

余白

先日、あるテレビ局の番組で東京学芸大学の附属小学校を取材したものが放送されました。大学の附属小学校ですから、最先端の教育が実践されているわけですが、その中で、インターネットを活用したオンライン学習の様子も紹介されました。

その場面の一つとして、テレビ会議システム

を活用した話し合い活動の様子が放映されました。取材を受けていた先生は、即座に子どもたちの反応が見え、非常に効率的だとおっしゃっていました。

しかしその一方で、これまで教室で行われてきた授業では、「友だちの考えを聞いてじっくり考える」「形にはできないけれども、表情だけで伝える」など、決して効率的ではない、言わば「余白」の部分で子どもたちは育っているのではないかということに気が付いたともおっしゃっていました。

ふりかえてみると、私たちは知らず知らずのうちに余白に様々な書き込みをしています。例えば、会議に参加したときに、ノートを持っているにもかかわらず、ノートを使わずに会議資料にいろいろと書き込んでいることがあります。その方が、会議のどの場面でどのような発言や説明があったのかがわかりやすくなることがありますし、そもそも何時の会議での出来事だったのかと思い出しやすくなることもあります(私の場合は単に資料の整理が下手であるということなのですが……)。最近はペーパーレスとして、会議資料が紙ベースで配布されないこともあるのですが、やはりその瞬間にぱっと手書きでメモを取りたくなることがありますよね。

働き方改革として、教育の場も「教師の働き方」として効率化が求められる時代ではありますが、子どもの心の育成は、決して効率だけでは語り尽くせません。「余白」で育つものにも心を寄せていきたいものです。

物事をよく考える子 思いやりのある子 ねばり強くがんばる子 明るく元気な子

9月の行事予定

日	曜	学校行事
1	火	大楠小学校創立記念日123年 TV朝会
2	水	内科検診(AM)
3	木	尿検査(1回目)
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	眼科検診 PM(1・4年)
9	水	内科検診(AM) 横須賀市学習状況調査(3~6年)
10	木	全国学習状況調査(6年)
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	横須賀芸術劇場アーティスト派遣事業(能楽・5年、3・4h目)
17	木	クラブ
18	金	避難訓練(不審者)
19	土	
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	秋分の日
23	水	内科検診(AM)
24	木	委員会活動
25	金	尿検査(2回目)
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	TV朝会
30	水	
生活 目標		道路や廊下を正しく歩こう 生活のリズムを整えよう

123歳の誕生日

9月1日は本校の創立記念日です。

改めて歴史を紐解いてみると、江戸時代が終わり、明治5年には、明治政府により学制が公布され、誰もが教育を受けられるように、全国に学校が作られることになりました。横須賀市では現在の汐入小学校や豊島小学校が開校されました。

明治6年の頃には、秋谷村・芦名村・長坂村・佐島村に、空き家やお寺のお堂を利用して小学校の授業が開始されました。

明治25年にそれぞれの学校名が、尋常中西浦小学校、尋常芦名小学校、尋常佐島小学校、尋常長坂小学校に変わったそうですが、そのころに現在の横須賀市内には26校の小学校と4つの分校があったそうです。そのうちの4校が大楠地区にあったのですね(当時から教育に関心が高かったということでしょうか?)。

明治30年9月1日、芦名にあった学校に、周辺の4つの小学校を合わせて「尋常中西浦小学校」に改めました。この日を「大楠小学校」の創立記念日として捉え、現在に至ります。

因みに、このあたりの地名は、中西浦村から西浦村、そして昭和10年に大楠町と変わりました。三浦半島で一番高い山の名前にちなんでつけられたのだそうです。その時に校名も「大楠尋常高等小学校」となりました。現在の大楠小学校の校章は、当時の大楠町の紋章を校章としたものです。

よく見てみると、大楠の「大」の文字を図案化して、5弁の花びらにし、中央に「楠」の文字を配置してあるのですね。



熱中症にご注意を!

8月26日付で水筒について学校からお手紙を発出しました。毎日暑い日が続く中、学校への登下校のみならず、お家に帰った後に遊びに行く際の水分補給についても、水筒を持たせる等、ぜひご注意ください(学校では回し飲みはしない等の指導をしています)。